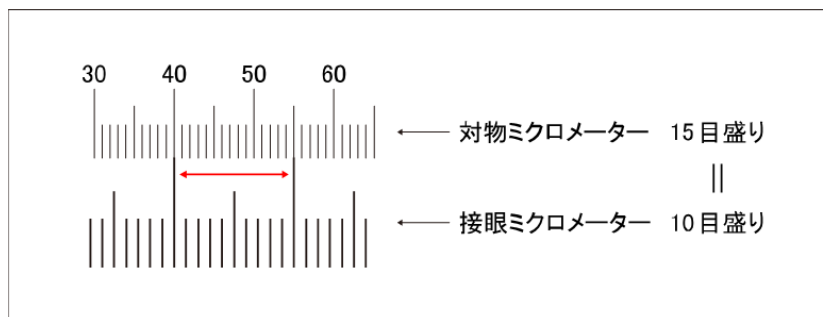


## ミクロメーターの使用方法

- (1) 観察する倍率にセッティングをした後、ステージ（対物）ミクロメーターをステージに載せ、視野の中心に目盛りが見えるようにセットします。
- (2) 接眼レンズ（ミクロメーター入り）を覗いて、「ステージ（対物）ミクロメーターの目盛り」と「接眼ミクロメーターの目盛り」を重ね合わせ、目盛りが一致する2ヶ所を探します。
- (3) 一致した2ヶ所間の「ステージ（対物）ミクロの目盛り数」と「接眼ミクロの目盛り数」を求めます。



- (4) 二つの数値から、接眼ミクロメーターの1目盛りの長さを計算します。計算方法は、下記の式を用いてください。

$$\text{接眼ミクロメーター 1目盛りの長さ} = \frac{\text{対物ミクロメーターの目盛り数}}{\text{接眼ミクロメーターの目盛り数}} \times \text{対物ミクロメーターの1目盛り (MA285の場合: 0.01mm)}$$

- (5) 上記計算で求めた、接眼ミクロの1目盛りの数値を用いて、観察試料の大きさを接眼ミクロメーターを用いて計測します。

## ミクロメーターの使用上の注意

◆ ミクロメーターを用いて観察試料を計測する場合は、以下の点にお気を付け下さい。

(1) 接眼レンズ内に、接眼ミクロメーターが組み込まれていること。

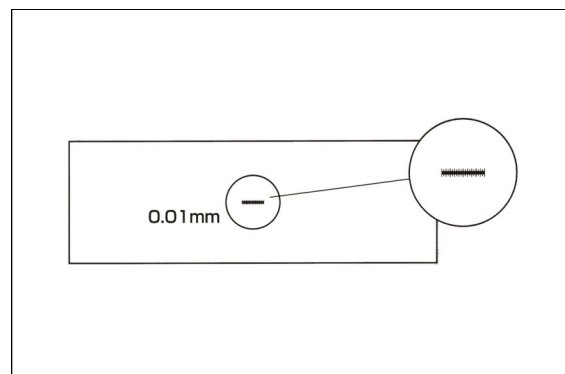
(2) ステージ（対物）ミクロメーターが用意してあること。

⇒ ステージミクロメーターは、顕微鏡ステージの上にセットをして使用します。

以上の条件が整っているか、ご確認ください。



接眼レンズ+接眼ミクロメーター組み込み



ステージ（対物）ミクロメーター

### <上記必要条件の理由>

(A) 接眼ミクロメーターだけでは、計測はできません。

⇒ 接眼ミクロメーターの1目盛の長さは、倍率によって変わるからです。

(B) ステージ（対物）ミクロメーターだけでも計測はできません。

⇒ ステージミクロメーターの目盛と、観察試料の両方に同時にピントを合わせることは出来ないからです。

※ ミクロメーターでの計測は、あくまで目安としての計測ですので、精密な測定をする用途には向きません。